

入場無料

講演会・第3回シンポジウム

●IWAMI
GINZAN

地域学と

歴史文化遺産

— 地域と大学 —

SAGA ●

2010年 9月4日[土] 12:50～

佐賀大学理工学部6号館 1階都市工学科大講義室

主催：地域学歴史文化研究センター・佐賀学創成プロジェクト

◎開会行事 12:50～

◎基調講演 13:00～14:30

「地域と歴史文化遺産」 —世界遺産石見銀山遺跡から考える—



講師 京都国立博物館保存修理指導室長
佐賀大学地域学歴史文化研究センター特命教授

村上 隆氏

1953年京都生まれ、学術博士、石見銀山資料館名誉館長

■著書 「金・銀・銅の日本史」岩波新書
「金工技術(日本の美術443)」至文堂 他

◎報告 14:40～15:25

「地域学歴史文化研究センターの 事業と地域歴史文化遺産」

佐賀大学地域学歴史文化研究センター准教授 伊藤 昭弘

◎シンポジウム 15:30～16:40

「地域歴史文化遺産の 保存と活用 —地域と大学—

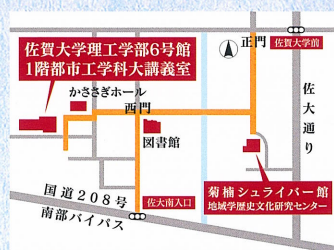
世界遺産登録運動、大学と地域文化交流事業、文書館活動、幕末佐賀明治偉人伝事業等の活動報告をもとに地域歴史文化遺産保存活用をどうすすめるか等を話し合います。

地域学歴史文化研究センターが佐賀大学に発足して5年目を迎える。センターは、佐賀学研究・教育や、地域文化交流事業、史料の保存・公開等を推進してきた。

現在、市町村合併や過疎化、災害等により、地域歴史文化遺産(史跡・歴史資料・古文書・行政文書等)の消滅の危機が生まれている。地域歴史文化遺産をいかに保存・活用するかが、地域再生の有力な手だてとなっている。

おりしも佐賀県・佐賀市は三重津海軍所跡等の世界遺産登録化にむけての活動を展開している。

今回、石見銀山の世界遺産登録に推進的役割を果たしてこられた村上隆京都国立博物館保存修理指導室長をお招きして、世界遺産運動はどのようなものなのか、なぜ石見銀山は登録に成功したのか、また大学は、地域歴史文化遺産の保存活用に関心があるべきかを、佐賀の未来にむけて考える場としたい。



◎お問い合わせ先

佐賀大学地域学歴史文化研究センター

〒840-8502 佐賀県佐賀市本庄町1番地 TEL・FAX 0952-28-8378

E-mail: chirebun@ml.cc.saga-u.ac.jp

- 定員170名を超えた場合、入場をお断りする場合がございますがご容赦ください。
- 出来るだけ事前に参加申し込みを、FAXかハガキで、参加者名、連絡先電話番号をご記入の上、佐賀大学地域学歴史文化研究センター(FAX0952-28-8378)へお申し込みください。